

八方尾根

ルートガイド

からまつだけ
唐松岳
2696m

丸山ケルン
標高2430m

かえらずのけん
不帰ノ嶮
1峰

はくばやりがたけ
白馬鍾ヶ岳
2903m

しゃくしだけ
杓子岳
2812m

しろうまだけ
白馬岳
2932m



10月上旬
1 色鮮やかな紅葉に彩る「八方池」



10月中旬
2 第2ケルンから望む北アルプス



10月上旬
3 鎌池湿原と白馬三山



10月中旬
4 リフトから望むパノラマ絶景



5 天空に浮かぶオープンテラス



600m 約30分

900m 約1時間

黒菱林道
※道幅が狭く大型車の
通行はできません。
※牧場内ですので、
牛にご注意ください。

『八方尾根の魅力』
八方尾根は北アルプス(飛騨山脈)の北に位置し、白馬連峰の唐松岳から四方八方に尾根が延びていることから、八方尾根と名付けられました。 一帯を望む山々は日本百名山の11峰が見渡せます。北は雨師山から八ヶ岳まで、澄んだ空気の日には第1ケルンから「富士山」が望めます。黒菱平から上部は中部山岳国立公園であるとともに、長野県天然記念物に指定され、ここにしかない固有種や可憐で貴重な高山植物をはじめ、特別天然記念物の日本カモシカやライチョウなどの動植物が多数生息しています。高山植物が咲き誇る八方尾根の美しい自然を、次に訪れる方、そして後世に伝えるために自然保護にご協力をお願いいたします。